



その人らしく生き抜くためのACPに向けて 九州がんセンター看護部では「患者の感情表出を促すコミュニケーションスキル“NURSE”」の研修を行っています！

ACP推進とコミュニケーションの重要性

ACPとは、“将来の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス”であり、国をあげて推進しています。しかし、その話し合いの内容には、本人の気がかりや意向、価値感や目標はもちろんですが、病状や予後の理解を含み、先々のことを考えたり話したりすることは、患者さんにショックを与えるのでは…という懸念も生じます。そこで、できるだけつらくならないように、でも、ご本人がしっかりと考えられるように、コミュニケーションがとても重要となります。

感情表出を促すコミュニケーションスキル“NURSE”とは

“NURSE”は「共感のスキル」の一つで、基本的なコミュニケーションスキルから更に一步踏み込み、患者の感情表出を促します。具体的には、まず、“Ask-Tell-Ask”で、「病気についてどのようにお聞きになってますか？」など、患者さんがすでに知っていることを引き出し、Tell me moreで、「もう少し詳しく教えてください」と話しやすいよう導き、批判や解釈することなく、ありのままを受け入れます。そして、“NURSE”の中で、特に重要なのが“Respond to emotion with NURSE（感情探索の技法）”（図1）です。コミュニケーションを通して、患者さん自らが自分の感情に気づき対処していけるように促します。このように患者さんが自分の感情に気づき対処できることは、先々のことを考えたり話したりする力に繋がります。

時々、「忙しくて患者さんと話す時間が無い」という声を聴きますが、“NURSE”は短い時間でも効率的・効果的に患者さんの本当の感情や意向を引き出すスキルですので、がん以外の幅広い領域で活用できます。



図1. Respond to emotion with NURSE

Naming 命名	患者の感情に何が起きているのかに注目するため、具体的な形容詞を用いて感情を命名する。患者の言うことをよく聴き、感情を理解したというメッセージを送る。
Understanding 理解	患者の感情的な反応は理解できることを表明する。患者の困難な状況や感情を敏感に理解し受け入れ、関係性を構築する。
Respecting 承認（尊敬）	感情だけでなく姿勢・態度・人格・対処方法を含め称賛する。意識できないときできないスキルである。
Supporting 支持	私はあなたを援助したいということを、患者に明確に伝える。患者とのパートナーシップを表明する。
Exploring 探索	患者が話すいくつかの感情に焦点を当てて質問したり、関心を持って尋ねていく。共感の関係を深める手段ともなる。

NURSEを用いた コミュニケーションスキル研修

当院では、コミュニケーションスキル研修を臨床ラダーに位置づけ、レベルⅠ～Ⅳとジェネラリストコースまで、段階的にNURSEを用いたコミュニケーションスキルを学んでいます。講義とロールプレイで構成され、振り返りを丁寧に行っています。意図的な関わりによって、患者さんの言葉の裏にある深い感情に、患者さんも私たちも気づくことができるようになったなど、成長が伺えます。

出前講座のご案内

出前講座のご紹介

当院では、専門看護師・認定看護師が『出前講座』を行っております。がん看護に関してお困りのことがありましたら、ぜひご活用ください。詳細はホームページをご確認ください。

